



2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL <https://www.daytona.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538(84)2200
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	6,971	20.9	967	15.6	1,008	15.9	686	9.0
2021年12月期第2四半期	5,766	33.5	837	119.8	870	126.2	629	153.6

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 699百万円(11.0%) 2021年12月期第2四半期 629百万円(154.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	292.00	278.84
2021年12月期第2四半期	268.73	256.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	9,678	5,992	61.1
2021年12月期	8,169	5,444	65.7

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 5,910百万円 2021年12月期 5,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2022年12月期	—	0.00			
2022年12月期(予想)			—	115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,825	10.3	2,039	11.5	2,061	9.1	1,378	4.1	587.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	3,604,600株	2021年12月期	3,604,600株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	1,241,916株	2021年12月期	1,260,731株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	2,352,149株	2021年12月期2Q	2,343,920株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の進行や原材料不足等による物価の上昇、新型コロナウイルス感染症の増加など、先行きの不安や不透明感が続く状況となりました。

二輪車業界においても、原材料価格の高騰や車両・用品の生産遅延等の不安定要素が顕在化しておりますが、新車販売は排気量251cc以上の小型二輪車を中心に前年同期を上回るなど、引き続き密を避ける趣味として支持され、好調な状況が続いております。

当社グループにおいても、こうした環境の中、全てのセグメントにおいて需要が強く、前年同四半期を上回る販売状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は69億71百万円（前年同四半期比20.9%増）、営業利益は9億67百万円（前年同四半期比15.6%増）、経常利益は10億8百万円（前年同四半期比15.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億86百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業は、(株)デイトナ及び(株)ダートフリークの卸売事業で構成しており、当第2四半期連結累計期間においては、ツーリング関連用品、ミラーやエンジンガードなどの車両カスタマイズ部品、ブレーキパッドやバッテリーなどの補修消耗品、ヘルメット、ウェアなどのライダー装着用品、他、取り扱いジャンルのほとんどが伸長した結果、売上高は53億69百万円（前年同四半期比19.4%増）、セグメント利益は7億87百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、引き続きインドネシアの首都ジャカルタのあるジャワ島を中心に販売網の整備を推進した結果、売上高、利益ともに順調に伸長しました。この結果、売上高は2億39百万円（前年同四半期比167.9%増）、セグメント利益は50百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業では、(株)ライダーズ・サポート・カンパニーがフランチャイジーとして展開するライコランド2店舗及びアップガレージライダーズ3店舗、並びに(株)ダートフリーク直営店舗1店舗の展開をしております。当第2四半期連結累計期間においても、ヘルメットなど高単価商品や車両カスタムが好調に推移した結果、売上高は12億74百万円（前年同四半期比12.7%増）、セグメント利益は1億円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

[その他]

その他事業の太陽光発電事業では、安定した天候のもと、売上高は前年並みの推移となりましたが、減価償却費等の販管費が減少した結果、利益面では前年同四半期を上回りました。リユースWEB事業では、第1四半期に続き中古部品販売が伸長し、当第2四半期連結累計期間においても利益を計上することができました。

この結果、その他事業での売上高は1億76百万円（前年同四半期比38.9%増）、セグメント利益は25百万円（前年同四半期比110.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ24.6%増加し、70億69百万円となりました。これは、棚卸資産が11億49百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4.6%増加し、26億8百万円となりました。これは、有形固定資産が27百万円、無形固定資産が30百万円減少しましたが、投資その他の資産が1億71百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ15億9百万円増加し、96億78百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ33.7%増加し、30億50百万円となりました。これは、買掛金が4億23百万円、短期借入金が4億42百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ43.6%増加し、6億35百万円となりました。これは、長期借入金が2億8百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億61百万円増加し、36億86百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10.1%増加し、59億92百万円となりました。

・キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少の8億49百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が10億9百万円の計上、仕入債務の増加が4億20百万円となりましたが、売上債権の増加による支出が3億78百万円、棚卸資産の増加による支出が11億43百万円、法人税等の支払額による支出が4億40百万円となったことにより、当第2四半期連結累計期間における営業活動より使用された資金は5億83百万円（前年同四半期連結累計期間に使用された資金は3億1百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が37百万円、貸付金の貸付けによる支出が50百万円となったことにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動より使用された資金は2億24百万円（前年同四半期連結累計期間に使用された資金は98百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出が1億79百万円、配当金の支払額が1億61百万円となりましたが、短期借入金の増加が4億38百万円、長期借入による収入が3億80百万円となったことにより、当第2四半期連結累計期間における財務活動より得られた資金は4億75百万円（前年同四半期連結累計期間に得られた資金は2億72百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、現時点で2022年2月10日の公表数値から変更はありません。

第2四半期末までの売上高は順調な推移となっておりますが、円安、輸送費用や原材料高騰による仕入価格の上昇により、利益面での低下が顕在化しております。これに対処するため、今期は数回に分けて販売価格の改定を進めておりますが、6月には7月以降の価格変更を前に一部流通業者の駆け込み需要も見られましたので、反動による売上減が今後発生する可能性もございます。

今後も、為替の急激な変動、各種生活用品の値上げによる消費者心理の冷え込み、新型コロナウイルスの流行等の不確定要素により売上高・利益面に影響を及ぼす可能性がございますが、現時点での影響度は算出することが困難であり、業績予想に反映していません。今後の状況で、業績への大きな影響が推測される場合には、業績予想を修正してお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,350,304	1,035,012
受取手形及び売掛金	1,179,063	1,565,496
棚卸資産	2,688,203	3,837,512
その他	465,036	638,743
貸倒引当金	△7,848	△7,018
流動資産合計	5,674,759	7,069,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	511,231	494,583
土地	863,790	864,735
その他(純額)	436,902	425,017
有形固定資産合計	1,811,925	1,784,335
無形固定資産		
のれん	390,322	357,795
その他	48,503	50,861
無形固定資産合計	438,825	408,657
投資その他の資産		
その他	247,237	419,196
貸倒引当金	△3,396	△3,396
投資その他の資産合計	243,840	415,799
固定資産合計	2,494,591	2,608,792
資産合計	8,169,351	9,678,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	441,311	865,142
短期借入金	584,673	1,027,320
1年内返済予定の長期借入金	301,126	292,404
未払法人税等	451,513	296,966
賞与引当金	93,550	89,603
株主優待引当金	19,801	4,352
その他	390,199	475,141
流動負債合計	2,282,175	3,050,931
固定負債		
長期借入金	395,938	604,870
退職給付に係る負債	1,453	1,746
その他	45,074	28,688
固定負債合計	442,466	635,304
負債合計	2,724,642	3,686,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	482,743	511,857
利益剰余金	5,122,447	5,621,767
自己株式	△629,018	△619,727
株主資本合計	5,388,629	5,926,353
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,734	△15,385
その他の包括利益累計額合計	△21,734	△15,385
新株予約権	76,725	73,956
非支配株主持分	1,088	7,379
純資産合計	5,444,709	5,992,303
負債純資産合計	8,169,351	9,678,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	5,766,131	6,971,122
売上原価	3,306,613	4,145,238
売上総利益	2,459,518	2,825,883
販売費及び一般管理費	1,622,062	1,858,083
営業利益	837,456	967,800
営業外収益		
受取手数料	5,568	8,584
デリバティブ評価益	14,385	4,869
為替差益	7,714	23,751
試作品等売却代	8,358	3,848
その他	5,100	5,268
営業外収益合計	41,127	46,323
営業外費用		
支払利息	5,577	4,912
その他	2,636	698
営業外費用合計	8,214	5,611
経常利益	870,368	1,008,512
特別利益		
固定資産売却益	592	1,111
特別利益合計	592	1,111
特別損失		
固定資産除却損	258	33
特別損失合計	258	33
税金等調整前四半期純利益	870,703	1,009,590
法人税、住民税及び事業税	268,989	288,254
法人税等調整額	△28,127	28,243
法人税等合計	240,861	316,498
四半期純利益	629,841	693,092
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△62	6,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	629,904	686,828

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	629,841	693,092
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	45	6,375
その他の包括利益合計	45	6,375
四半期包括利益	629,887	699,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	629,949	693,177
非支配株主に係る四半期包括利益	△61	6,290

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	870,703	1,009,590
減価償却費	73,783	76,646
株式報酬費用	6,783	8,792
のれん償却額	32,526	32,526
貸倒引当金の増減額(△は減少)	91	△830
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,530	△3,946
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	78	88
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△11,751	△15,448
受取利息及び受取配当金	△172	△314
支払利息	5,577	4,912
デリバティブ評価損益(△は益)	△14,385	△4,869
固定資産除売却損益(△は益)	△334	△1,078
為替差損益(△は益)	△1,883	△5,326
売上債権の増減額(△は増加)	△231,164	△378,416
棚卸資産の増減額(△は増加)	△625,183	△1,143,769
仕入債務の増減額(△は減少)	151,316	420,646
その他	△311,570	△137,295
小計	△33,053	△138,091
利息及び配当金の受取額	173	314
利息の支払額	△5,724	△5,167
法人税等の支払額	△262,805	△440,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	△301,410	△583,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,204	△10,401
定期預金の払戻による収入	2,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△77,786	△37,861
有形固定資産の売却による収入	621	1,361
無形固定資産の取得による支出	△14,174	△9,025
貸付けによる支出	—	△50,051
非連結子会社株式の取得による支出	—	△120,673
差入保証金の差入による支出	△13	△92
差入保証金の回収による収入	229	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,927	△224,344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	766,881	438,855
長期借入れによる収入	162,000	380,000
長期借入金の返済による支出	△544,119	△179,790
リース債務の返済による支出	△2,858	△1,885
自己株式の取得による支出	△95	△115
配当金の支払額	△106,579	△161,720
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△384	—
その他	△2,000	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	272,843	475,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,817	8,856
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△124,676	△323,292
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,332	1,172,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,002,656	849,484

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりであります。

・有償支給取引

有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を実質的に負っているため、支給品の消滅を認識しない会計処理に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,421,227	87,676	1,130,139	5,639,043	127,088	5,766,131	—	5,766,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,227	1,915	46	76,189	—	76,189	△76,189	—
計	4,495,454	89,592	1,130,186	5,715,232	127,088	5,842,320	△76,189	5,766,131
セグメント利益	735,759	346	85,574	821,680	12,070	833,751	3,704	837,456

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益の調整額3,704千円は、セグメント間取引消去6,693千円、棚卸資産の調整額△3,286千円、固定資産の調整額298千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	5,281,064	239,998	1,273,531	6,794,593	176,528	6,971,122	—	6,971,122
外部顧客への売上高	5,281,064	239,998	1,273,531	6,794,593	176,528	6,971,122	—	6,971,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88,035	—	572	88,607	—	88,607	△88,607	—
計	5,369,099	239,998	1,274,103	6,883,201	176,528	7,059,730	△88,607	6,971,122
セグメント利益	787,836	50,072	100,410	938,319	25,428	963,748	4,052	967,800

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益の調整額4,052千円は、セグメント間取引消去6,371千円、棚卸資産の調整額△2,592千円、固定資産の調整額273千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しておりますが、セ

グメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。